

アルジェリア政治・経済月例報告 (2023年12月)

2023年12月
在アルジェリア日本国大使館

内政

- 4日、テブン大統領は、ブガリ国民議会(下院)議長と会談。
- 4日、テブン大統領は、201の郡長の異動を含む地方自治体の人事を刷新。
- 9日、メラッド内務・地方自治・国土整備相は、ティンドウフ県を視察。
- 11日、テブン大統領は、ヒダウイ青少年高等評議会(CSJ)会長、ハヌーン労働党党首と会談。
- 11日、ラルバウィ首相は、「社会的成果と経済的課題」に関する国際セミナー開会式を主催。
- 14日、ラアガブ報道相は、エルムジャヒド紙CEOのクルシ氏を解任。
- 17日、メラッド内務・地方自治・国土整備相は、18の県監察官を含む地方自治体の人事異動を発表。
- 20日、テブン大統領は、民主国民連合(RND)のヤヒ党首と会談。
- 20日、テブン大統領は、ヘラディ氏に代わり、ヘルフィ氏を国家社会経済環境評議会(CNESE)議長に任命。
- 23日、テブン大統領は、「市民社会フォーラム」開会式の演説(ラルバウィ首相代読)において、政府のパートナーとして市民社会がより大きな役割を果たすことを呼び掛け。
- 25日、テブン大統領は、上下両院合同の臨時会を招集し、1977年のブメディエン大統領以来初となる「一般教書」演説を実施。
- 29日、テブン大統領は、ネザール元国防相の死亡を受け、弔意を表明。30日の葬儀には、ラルバウィ首相、シェングリハ国軍参謀総長らが参列。
- 29日、テブン大統領は、7つの郡(ラグアット県アフルー郡、バトナ県バリカ郡、ティアレット県クサール・シェレラ郡、ジェルファ県アイヌ・ウサラ郡及び同メサド郡、エル・バヤド県エル・アビオド・シディ・シール郡、ムシラ県ブサアダ郡)を「準県」に昇格させる大統領令に署名。
- 31日、テブン大統領は、国民向け新年の祝賀メッセージを発出。

外交

- 2日、当地訪問中の南ア与党ANC・ムバルラ事務局長は、グジル国民評議会(上院)議長、ブガリ下院議長、アッターフ外相と会談。
- 4日、人権及び人民の権利に関するアフリカ裁判所(AfCHPR)第71回総会が閉幕。テブン大統領は、アブードAfCHPR長官と会談。
- 5日、ラルバウィ首相は、アルジェ開催のアフリカ・スタートアップ会議の開会式でテブン大統領スピーチを代読。
- 4-6日、第11回米・アルジェリア軍事対話がワシントンで開催。
- 5日、メラビ職業訓練・専門教育相は、当地訪問中のアハマドナー・モーリタニア公務・労働相と会談。

- 6日、シェングリハ国軍参謀総長は、当地訪問中のエルグール・チュニジア陸軍参謀総長と会談。
- 7日、ベンムルード・デジタル担当高等弁務官は、当地訪問中のベン・ネジ・チュニジア通信技術相と会談。
- 8－9日、アウン産業・製薬相はチュニジアを訪問し、ムラベト保健相と会談するとともに、ハシャニ首相を表敬。
- 9－12日、アッターフ外相は、ドーハ・フォーラム参加のためカタールを訪問。ムハンマド・カタール首相兼外相、シュタイエ・パレスチナ首相、タミーム・カタール首長を表敬するとともに、サファディ・ヨルダン副首相兼外務・移民相、ビルタ・ルワンダ外相と会談。
- 10日、ブガリ下院議長は、ミレイ・アルゼンチン大統領就任式に出席。
- 10－14日、ベルマフディ宗教・ワクフ相は、第19回国際イスラム・フォーラム参加のためロシアを訪問。
- 11－12日、マグラマン外務次官は、ベルギーで第4回両国政策協議をゲンティス外務次官代行と共催するとともに、デ・ムーア亡命・移民担当大臣と会談。
- 12日、テブン大統領は、ミシュアル・クウェート皇太子と電話会談。
- 14日、テブン大統領は、アッバース・パレスチナ大統領からパレスチナ情勢の現状を説明する書簡を受領。
- 14日、マグラマン外務次官は、当地出張中のナットソン・スウェーデン外務次官と両国政策協議を共催。
- 14日、ビビ・トリキ・郵便・情報通信相は、モーリタニアを訪問し、ビラール首相を表敬。
- 16日、テブン大統領は、ナッワフ・クウェート首長の死去を受け、ミシュアル皇太子宛に弔意メッセージを発出。
- 16日、マグラマン外務次官は、チェコを訪問し、ルベシュ外務次官と第5回両国協議を共催。
- 17日、テブン大統領は、当地訪問中のラジューブ・ファタハ中央委員会事務局長と会談。
- 17－18日、アッターフ外相は、オラン開催の第10回アフリカ平和安全ハイレベル会議に出席するとともに、フランシス・シエラレオネ外務・国際協力相、トゥガー・ナイジェリア外相、アンマール・チュニジア外相、アントニオ・アンゴラ外相、ムリンバ・ウガンダ外務国務相、ラクロワ国連平和活動担当事務次長と会談。
- 18日、ラルバウィ首相は、メラッド内務・地方自治・国土整備相と共にクウェートを訪問し、ナッワフ首長への弔意を表明。
- 19日、テブン大統領は、エルシーシ・エジプト大統領の3期目再選を受け、祝意メッセージを発出。
- 19日、シェングリハ国軍参謀総長は、当地訪問中の中国中央軍事委員会装備開発部技術装備協力課長、中国航空技術輸出入有限責任公司(CATIC)CEOと個別に会談。
- 20日、当地訪問中のマルスディ・インドネシア外相は、テブン大統領を表敬するとともに、アッターフ外相と会談。
- 20日、アッターフ外相は、中国との国交樹立65周年に際し、王毅外相と電話会談。
- 20日、ブガリ下院議長は、中国共産党使節団と会談。
- 21日、アッターフ外相は、20日に駐マリ・アルジェリア大使がジョップ・マリ暫定政府外

務・国際協力相に召喚されたことを受け、当地マリ大使を召喚し、当国のマリの平和と安定への貢献を想起するとともに、アルジェ合意に新たな弾みをつけるための努力を期待する旨表明。

●22日、外務省は、協議のため駐マリ・アルジェリア大使の召還を決定。マリ外務省も同様の理由で、当地マリ大使の召還を発表。

●24日、外務省はコミュニケにて、国連マリ多面的統合安定化ミッション(MINUSMA)での任務終了にあたり、その貢献と支援への謝意を表明するとともに、アルジェ合意の重要性を主張。

●31日、テブン大統領は、新年を迎えるに当たり、サイド・チュニジア大統領、マクロン仏大統領と電話会談。

経済

●4日、バダニ漁業・漁業生産相は、2024年予算法案に規定されている奨励措置により淡水養殖の生産量を2024年3千トン、2025年に1万5千トンの目標を発表。

●4日、ソネルガスは、太陽光発電1000MWプロジェクトの入札開始を発表。

●4日、国家統計局(ONS)は、全国レベルでの10月の消費者物価指数が前月比で-1.2%だった一方、前年同月比で+8.2%だったことから、農産物及び肉類を始めとする食料品価格の上昇傾向があると分析。

●5日-7日、第2回アフリカ・スタートアップ会議がアルジェで開催。安永裕幸UNIDO事務次長がスピーカーとして登壇。

●6日、ジトゥニ商業・輸出促進相は、タンザニア開催の第12回アフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)閣僚理事会に出席。

●7日、ソネルガスは、ガラ・ジェビレット鉱山のエネルギー需要を賄うため、ティンドウフ県での200MWの太陽光発電所建設を発表。

●7日、バダニ漁業・水産相は、2024年3月の浮体式ケージを用いた養殖の操業開始を発表。

●10日、中国の自動車メーカー長城汽車は、当地代理店の正式輸入許可取得を発表。

●10日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、年間ガス生産量の前年比40億立方メートル増加を実現する新規ガス田の生産を2023年末までに開始する旨発表。

●11日、ファード財務相は、2024年予算法案を上院に提出。

●11日、アウン産業・製薬相は、オラン県にある伊フィアットの工場の開所式に出席。

●11日、鉱業庁(ANAM)は、31の鉱山採掘サイトに係る技術入札につき、応募165社のうち140社を選出した旨発表。

●12日、国営鉄鋼会社(FERAAL)は、直近1年で、ガラ・ジェビレット鉱山から25万トン以上の鉄鉱石が採掘された旨発表。

●12日、モスタガネム県エネルギー・鉱業局長は、韓国サムスン社が約1060億ディナールを投資する発電所が2024年第1四半期頃から段階的に稼働開始となる旨発表。

●12日、当地訪問中のドゥアルテ・アフリカ担当国連事務総長特別顧問は、ファード財務相、アルカブ・エネルギー・鉱業相と会談。

●13日、ジトゥニ商業・輸出促進相は、当地訪問中のゲイガレットIMFミッション団長と会談。

- 13日、アルジェリア銀行は、新10DA硬貨の流通を発表。
- 14日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、国家海水淡水化戦略を発表。
- 14日、テブン大統領は、第31回アルジェリア生産見本市の開幕を宣言。
- 16日、ジトゥニ商業・輸出促進相は、アルジェリアのAfCFTAの主導的貿易イニシアチブ（GIT）への正式加盟を発表。
- 17日、財務省税務総局（DGI）は、2023年改正予算法の第15条に基づき、4年以上前の税金滞納を2024年12月31日までに納付した場合の罰金免除を発表。
- 17日、家電製造大手のコンドール社は、2024年末までに冷蔵庫用コンプレッサーの生産工場の立ち上げプロジェクトを発表。
- 17日、国営貯蓄共済銀行（CNEP）は、アルジェリア・スタートアップ・ファイナンス・ファンド（ASP）とのパートナーシップ契約を締結。
- 18日、アルジェリア投資促進庁（AAPI）は、2024年1月からの世界投資促進機関協会（WAIPA）加盟を発表。
- 18日、国立投資基金（FNI）は、伊フィアット工場への資本参加を発表。
- 18日、第7回全国サハラ農業展示会Agro-Soufがエル・ウェッド県で開催。
- 19日、中国自動車ブランドDFSKは、2023年末までの新車納入開始を発表。
- 19日、中国自動車ブランド奇瑞（Chery）は、2024年1月中にアルジェ市内の3か所にショールームをオープンする旨発表。
- 21日、サムスン・エレクトロニック・アルジェリアは、アルジェリア企業シノバ（Sinova）との提携の下、電子機器と家電向けの3つの生産ユニット完成と本年中の稼働開始を発表。
- 21日、ハシシ・ソナトラック総裁は、同社創立60周年記念式典を開催し、海水淡水化プラント5基の建設や、2024年から2028年にかけての500億米ドルの新規投資に言及。
- 21日、アルジェリア航空は、コロナ以降停止していたベイルート（レバノン）及びラタキア（シリア）への路線再開を発表。
- 23日、ワリード知識経済・新興企業・零細企業相は、スタートアップ企業のクラウドファンディングのためのデジタル・プラットフォームの立ち上げを発表。
- 24日、テブン大統領は、2024年予算法に署名。
- 25日、世界銀行は、2023年のアルジェリアへの移民送金は18億米ドル（GDPの0.8%に相当）で安定している旨発表。
- 26日、国営製薬会社サイダル社は、2024年末までに生産医薬品を160種類から300種類に拡大し、医薬品の輸入を2026年までに11億米ドル削減する旨発表。
- 27日、アルジェリアと韓国の合併海洋サービス会社Sakomasは、観光船の造船着手を発表。
- 30日、中国の自動車ブランド吉利汽車（Geely）の当地代理店Sodivemは、同ブランドの4モデルの販売を開始。Sodivem代表は、2023年末までのメデア県での同ブランド車両組立て工場建設及び2026年の稼働を発表。
- 31日、アウン産業・製薬相は、サイダル社が出資したジェネリック医薬品と基準医薬品の同等性に関する研究を行うセンター「EquivalBiocenter」の開所式を開催。

治安

●2日、オラン県警察は、ブスフェル地区で2つの海路を通じた密出国の企画・準備グループを摘発し、モロッコ人4人を含む海路密出国志望者24人を海岸で逮捕し、ボート、刃物、覆面、外貨等を押収した旨発表。

●5日、憲兵隊は、アルジェ県ビルハデム地区で麻薬密売を行っていた2人を逮捕し、向精神薬プレガバリン1200錠、キフ及び金銭を押収した旨発表。

●5日、エル・タルフ県警察は、エシャット地区において監視していた男性2人を逮捕し、向精神薬プレガバリン6千錠を押収した旨発表。

●7日、国軍は、11月29日－12月5日実施の掃討作戦でテログループ支援者12人を逮捕した旨発表。

●10日、セティフ県警察は、リビアから仕入れた妊娠中絶薬をネット上で不法販売していた7人からなる国際グループを検挙し、大量の中絶薬と向精神薬、密売で得た金銭を押収した旨発表。

●10日、国境警察は、エル・タルフ県においてチュニジアから入国したアルジェリア人ドライバーが車内に隠匿していた向精神薬11,800錠を押収し、更に同人が所属する薬物密輸グループの他の人員4人を逮捕した旨発表。

●11日、アルジェ県警察は、県内数か所での取締りで犯罪グループの人員合計16人を逮捕し、麻薬200錠、向精神薬1,642錠、麻薬密売で得た887,500DA、刃物6丁、麻薬運搬用の乗用車1台等を押収した旨発表。

●14日、国軍は、6日－12日実施の掃討作戦でテログループ支援者12人を逮捕した旨発表。また、イン・ゲザム県で、テロリスト1人が軍当局へ投降した。

●17日、憲兵隊は、エル・ウェッド県で車両不正取引・車両書類改竄を専門とする10人から成る犯罪グループを摘発し、市役所職員を含む5人を逮捕し、他のメンバーも捜索中である旨発表。

●17日、憲兵隊は、ボルジ・ブ・アレリジ県で欧州査証取得希望者に偽造文書を提供していた犯罪グループの構成員5人を逮捕した旨発表。

●17日、モスタガネム県警察は、海路密出国を準備すると称して密出国志望者から金銭を詐取していた2つのグループを摘発し、2人を逮捕し、他のメンバーも捜索中である旨発表。

●21日、国軍は、13日－19日実施の掃討作戦でテログループ支援者8人を逮捕した旨発表。

●22日、オラン県警察は、窃盗や襲撃を目的に拳銃を所持していた男性と共犯者7人を逮捕した旨発表。

●24日、アイン・デフラ県警察は、海路密出国の企画準備を専門とする犯罪グループのメンバー3人を逮捕した旨発表。

●24日、モスタガネム県警察は、海路密出国を企画準備し、密出国志望者から200万DAを支払わせた犯罪グループを検挙した旨発表。

●28日、国軍は、20日－26日実施の掃討作戦で、ボルジ・バジ・モクタル県においてテロリスト2人を逮捕した旨発表。また、モスタガネム県ではテログループ支援者1人を逮捕し、ブイラ県では爆発物の隠匿されたテログループの拠点8か所を発見し処理。

●30日、モスタガネム県警察は、SNS上でスマートフォンを販売すると称して代金を振り込

ませ、実際には商品を郵送せずSNSのアカウントを削除して追及から逃れていた詐欺グループの構成員2人を逮捕した旨発表。

(了)